

第144回福島県新型コロナウイルス感染症対策本部員会議

- 1 日時 令和4年7月29日（金）16:00～16:13
- 2 場所 危機管理センター災害対策本部会議室（ペーパーレス会議）
- 3 議事

（1）新型コロナウイルス感染者の状況等について

（保健福祉部長）

5ページ、資料1をお願いいたします。

【資料1】

昨日（28日）の新規陽性者数は1,527人でした。

今月25日から4日連続で1,000人を上回る日が続いており、26日に続いてこれまでで最多を更新いたしました。

また、今月の新規陽性者数もこれまで最多であった4月上回り過去最多となっております。

次に、4ページ。

7月28日現在の療養者の状況です。

入院者が359人、うち重症者が1人となっております。

入院者数は、7月19日以降、300人を上回っております。

療養者数は、合計で11,580人となり、20日以降、9日続けて過去最多を更新し続けております。

また、自宅療養者数は10,645人、こちらも過去最多となります。

また、健康観察の重点化に伴いまして、これまで「療養先調整中の人数」として公表していたものは、「自宅療養者数」に含めることとなります。

次に、6ページ。

人口10万人当たりの1週間の新規陽性者数は470.56人（28日現在）。9日続けて過去最多を更新し続けております。

次に、8ページ。

病床使用率は47.9%。

レベル3の基準である50%を下回っているものの、引き続き高い水準で推移してお

ります。

次に、10ページ。

人口10万人当たりの療養者数は、631.70人。

こちらも9日続けて過去最多を更新しております。

次に、13ページ。

保健所所在市における、人口10万人当たりの1週間の新規陽性者数です。

須賀川市、白河市が700人を超えているほか、郡山市、福島市が500人を超えており、各市で300人を上回っております。

次に、14ページ。

保健所所在市を除く各市における、人口10万人当たりの1週間の新規陽性者数です。

本宮市、二本松市、喜多方市が400人を超え、相馬市、田村市、伊達市は300人を超えております。

次に、15ページ。

モニタリング指標です。

「入院率」(3.1%)、「人口10万人当たりの療養者数」(631.70人)、
「PCR陽性率」(36.2%)、
「人口10万人当たりの1週間の新規陽性者数」(470.56人)が、レベル3、
「病床の使用率」(47.9%)が、レベル2、
「重症者用の病床使用率」(2.2%)、が、レベル1となっております。

なお、「感染経路不明割合」につきましては、健康観察の重点化に伴い算出不能となっております

次に、17ページ 資料3。

今般の感染拡大により、救急外来を受診する患者が増加するなど、救急医療に影響が生じております。

このため、濃厚接触者の方、症状のある方については、「福島県新型コロナ検査キット配付センター」を御利用いただき、医療機関の受診前に自身で検査をしていただきますよう、お願いいたします。

また、医療機関を受診される際は、診療時間内の受診に御協力いただきますよう、お

願ひ申し上げます。

次に、18ページ 資料4。

8月6日～8月16日まで、「福島駅西口広場」及び「郡山駅東西自由通路」に、臨時の無料検査拠点を開設いたします。

また、この臨時検査拠点のほか、県内207箇所の薬局等で無料検査を実施しております。

無症状の方で、感染不安のある県民や、これから帰省される方、御高齢の親族等と面会される予定がある方などに、無料検査の利用を呼びかけてまいります。

なお、濃厚接触者の方、症状のある方については、「福島県新型コロナ検査キット配付センター」の御利用をお願いいたします。

説明は、以上です。

(2) 新型コロナワクチンの接種状況等について

(病院局長)

19ページ、資料5をご覧ください。

【資料5】

1 接種実績ですが、7月27日時点で、3回目接種の回数が、1,293,125回、全人口に対する接種率は69.4%となっております。

資料中段の囲みの部分、7月末累計の対象者、約153万2千人に対する3回目の接種率は84.4%となっております。

また、5歳以上11歳以下の小児の接種率は、1回目が39.1%、2回目が36.2%となっております。

なお、4回目の接種回数は150,990回となっております。

4回目の接種率について、資料にはございませんが、対象者のうち、人数の把握が可能な60歳以上の方で7月末までに接種の順番を迎える約33万人を母数とした場合、その接種率は45.8パーセントとなっております。

重症化予防やこれ以上の感染拡大を防ぐため、引き続き、ワクチン接種がお済みでない方に速やかに接種いただくよう、市町村と連携し、しっかりと取り組んでまいります。

説明は以上です。

(3) その他

(金光教授)

先ほど保健福祉部長から御説明があったとおり、本日、新規陽性者1,500人以上ということで、あるいは、病床使用率も50%弱ということで、実質的に運用が厳しい状況だと思います。

これは恐らくBA.5の感染力の強さということも一因だろうと考えます。

皆様には毎度のお願いで大変恐縮ではありますが、ぜひ少しだけでも人との接触を控えてほしいと思っています。

BA.5がいくら感染力が強いと言っても、結局は人との接触以外ではうつりませんので、こういったことを皆さんが少しずつやることによって感染者が減るものだと思います。

そして、今頑張ることによって、皆さんで、少しでも安心してお盆を迎えられるような状況に持っていければと考えてございます。

(知事)

はじめに、感染症対策や医療の現場で献身的に御尽力いただいている医療関係者の皆様に、改めて、敬意と感謝の意を表します。

県民の皆様、事業者の皆様には、感染拡大防止のため、長期間にわたって、御理解と御協力を頂いています。ありがとうございます。

全国では、昨日、1日当たりの新規陽性者数が23万人を超え、2日続けて過去最多を更新し、18都道府県においても最多を更新するなど、感染の急激な拡大が続いています。

本県でも、昨日は、過去最多となる1,527人の新規陽性者を確認したほか、月別の新規陽性者数もこれまでで最多を更新するなど、全国と同様に、感染の拡大が続いています。

さらに、今月のクラスターの発生件数は、本日(29日)15時現在で110件となり、1か月の発生件数としては過去2番目となっています。

また、発生場所については、児童施設や学校だけでなく、高齢者施設や医療機関などにおけるクラスターも増えてきています。

加えて、オミクロン株BA.5系統への置き換わりが急速に進み、今月25日から28日までに行われたゲノム解析では、感染者に占めるBA.5系統の割合が71%まで高まってきています。

現時点では、更に置き換わりが進んでいると見込まれ、新規陽性者数は今後も増加が続くおそれがあります。

こうした状況を踏まえ、先週（20日）、「福島県感染拡大警報」を発出しました。

感染拡大警報では8つ対策を皆様をお願いしていますが、特に、御自身や御家族が陽性と診断されたり、濃厚接触者になっても慌てないための備えや、医療を守るための対策の徹底をお願いします。

感染者が急増しており、様々な場面でどなたでも感染するおそれがあります。そのため、家庭内で感染者が確認された時の備えとして、事前に、自宅内の生活動線を分ける工夫をし、数日間分の生活必需品をストックしておきましょう。

次に、医療体制を守るためのお願いです。感染が拡大し、医療に従事している方が感染してしまったり、濃厚接触者となり出勤できないという状況になりつつあります。医療従事者の皆様が出勤できなくなることで、コロナ関連の対応だけでなく、通常診療や救急医療などにも影響が生じ、医療提供体制のひっ迫につながります。御自身と大切な人の命と健康を守るためにも、医療従事者等に感染を上げないよう感染対策の徹底をお願いします。

今週は、過去最多を2度も更新するなど、全県でこれまでにないほどの勢いで感染が拡大しています。

感染の拡大を抑えていくためには、無料検査等を積極的に活用いただくとともに、県民の皆様お一人お一人が強い危機意識を持って感染対策を徹底し、感染を広げない行動をとっていただくことが何よりも重要です。医療機関を始め、社会の機能を維持していくためにも、県民の皆様の御協力をお願いします。

各部局、各地方本部、各保健所においては、常に危機感と緊張感を持って、県民の皆様の命と健康を守るため、迅速、的確に対応を進めてください。